資料2

令和4年度　南区まちづくり推進事業実績報告

No.	人材の育成によるまちづくり	予算額（千円）
1	新たなまちづくり人材育成事業	2,700
2	まちづくり事例視察研修	300
No.	防災力の向上によるまちづくり	
3	南区地域防災訓練支援事業	670
4	津波・高潮警戒地域防災計画作成支援事業	1,000
5	防災に強いまちづくり育成事業	997
6	南区区民防災会議開催事業	557
No.	地域の課題・特性に応じたまちづくり	
7	南区子どもの交通安全対策事業	100
8	終末期医療に関する啓発事業	255
9	口腔ケアに関する啓発事業	200
10	南区いきいきスポーツ大会	200

No.	ICTでつながるまちづくり事業	予算額（千円）
11	ICTでつながるまちづくり事業	2,346
No.	住民と行政の協働によるまちづくり	
12	地域ブランド力向上推進事業（城南地域）	1,238
13	南区たからものマップ作成	1,750
14	QRコードを活用したクイズラリー	86
15	おいしい南区魅力発信事業	205
16	地域コミュニティづくり支援事業	3,462
17	地域課題対応費	1,469
18	南区まちづくり懇話会開催経費	1,465

南区まちづくり推進経費　合計	19,000

1　新たなまちづくり人材育成事業

目的

◆まちづくりに関心のある市民に地域間交流の場を提供することで、新たな担い手の発掘・育成をし、新たなまちづくり団体の創出や自主自立のまちづくり活動の支援を図る。

内容

◆まちづくりに関心を持つ住民同士が結びつき、自らのまちづくり活動のコンセプトをブラッシュアップするためのワークショップの開催
◆実際に活動を開始するために必要なノウハウを習得するための「まちづくり活動講座」の開催　⇒各ワークショップでまちづくりの機運は高まったが、具体的な取り組みには至っていないため、まちづくり活動講座は未実施となった。

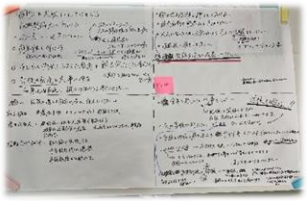
実績

◆まちづくりｻﾛﾝin幸田

まちづくり活動に興味のある住民が気軽に集まり、地域を学びながらつながりを作っていただく場としてまちづくりサロンを開催。
R5.1月までに全８回開催し、参加者は延べ150人を超え、今後も継続して取り組んでいく。
参加者からは「多くの方とのつながりができ、対話の中で気づきを得ることができた」との意見があった。

◆南部九校会(PTA)ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ

地域コミュニティの活性化や後継者育成に繋げるため、南部まちセン管内の小中学校PTA会（九校会）を対象にワークショップを開催。
（9/28、12/7の2回開催）
各小中学校PTA会長等18名が参加し、「子どもたちに願うこと、その願いを実現させるためにPTAや地域でできること」をテーマに意見交換を行った。



◆城南ﾜﾝﾀﾞﾎｰ×企業ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ

TEAM城南ワンダホーの地域ブランド化の研究や、持続可能な事業運営に向けた基盤強化を図るため、民間企業４社とのワークショップを実施した（7/13開催）。
地元企業等から24名が参加し、「城南町の新名物を開発しよう」をテーマに意見交換を行った。城南ワンダホーと企業の親睦が深まり、今後の連携に期待ができる内容となった。

２　まちづくり事例視察研修

目的

◆まちづくり活動を行っている地域団体と、行政による二つの視点でまちづくりの先進地域の視察を行うことで、より実践的な知見を得る。
◆まちづくり活動に関する担当職員の支援スキルを向上し、住民主体によるまちづくり活動の推進・拡充を図る。

内容

◆視察概要
日　時：令和4年7月16日（土）～7月17日（日）
参加者：川尻青年協議会会員 6名
　　南区の地域担当職員 6名　総務企画課職員 1名
視察先：①喫茶キャプテン視察(那珂川市)
　　②木藤亮太氏講演(那珂川市)
　　③駅前ビル「ナカイチ」視察(那珂川市)
　　④バサロ薬院店視察＆意見交換(福岡市)

①喫茶キャプテン

②木藤氏講演

③駅前ビル「ナカイチ」

◆参加者の気づき
- 子どもを関わらせる仕掛け＝種まきである。
  →大人になってからも、まちを好きでいてくれる。
- 地元民は地元の資源に気づいていないこともある。
  →地域担当のような「外からの目」は有効
- 新たな人材を発掘できるよう、様々な人が地域に関わるきっかけづくりを行政が支援することが重要。

３　南区地域防災訓練支援事業

目的

◆校区防災連絡会等が実施する防災訓練などの防災活動を支援することで、地域災害対応力の強化を図る。

内容

◆校区防災連絡会等が実施する防災講座・訓練の支援や、避難所運営訓練に必要となる非常食等の提供を行う。

＜実績＞
令和４年度実施状況（令和５年１月時点）

防災研修・訓練件数　８件

非常食等の支援件数　９件

４　津波･高潮警戒地域防災計画作成支援事業

目的

◆津波・高潮警戒地域（天明地区）に対して、大学と連携し、実効性のある避難計画（地区防災計画）を作成する。
※R３年度からの継続事業

内容

◆①地区の現状整理（R3年度アンケート調査結果）
②地区の意向調査、ルールの取りまとめ（ワークショップ等の実施）
③地区防災計画を作成、周知。

＜実績＞
天明地区４校区（銭塘、中緑、奥古閑、川口）に対し地区防災計画作成に関する説明会及びワークショップを実施

・第１回説明会（天明全校区対象）
日時：令和4年8月30日（火）
会場：天明公民館
講師：竹内准教授（熊本大学）

・第２回、第３回ワークショップ（校区ごとに開催）
日時：令和4年9月22日、令和5年1月20日：中緑
令和4年10月2日、令和5年1月15日：銭塘
令和4年10月12日、令和4年12月23日：川口
令和4年10月4日、令和4年12月17日：奥古閑

※今後作成した地区防災計画を全世帯に配布予定

５　防災に強いまちづくり育成事業

目的

◆防災に関する専門的知識を有する地域居住及び勤務の「防災士」と地域防災組織を結び付け、防災士の持つスキルを活用することで、地域防災力の向上を図る。

内容

◆防災組織等の活性化に向けて、防災士と区役所が協力・連携しながら地域へ防災講座や防災訓練等の支援を実施していくための研修を実施する。

＜実績＞

南区に在住または勤務する防災士を対象にワークショップを実施

・第１回集合研修
　日　時：令和4年12月11日（日）
　会　場：火の君文化センター
　参加者：３５名

・第２回ワークショップ（地域ごとに開催）
　日時：令和5年1月22日：飽田・天明
　　令和5年2月　5日：南部
　　令和5年2月25日：幸田（予定）
　　令和5年2月26日：城南・富合（予定）

６　南区区民防災会議開催事業

目的

◆有識者や被災体験者等の基調講演に加え、地域防災に関する意見交換を実施し、住民参加型の区民防災会議を開催することで、地域住民の防災意識の向上を図る。

内容

◆①大学教授等による防災・災害に関する講演
②地域防災に関する課題等をテーマとした意見交換の実施

＜実績＞
　南区役所、各まちづくりセンターをオンラインで繋ぎ、京都大学の矢守教授や球磨村防災管理官 中渡氏の講話後に「要配慮者の避難について」をテーマに各地域で大事な事・改善点等を話し合う「南区防災会議」を実施

日　時：令和4年9月11日（日）
会　場：南区役所
　　各まちづくりセンター
参加者：校区防災連絡会関係者
　　消防団　計６７名

7　南区子どもの交通安全対策事業

目的

◆スクールゾーン内の歩道等に、南区キャラクターや特徴的なライン・マーカー等を整備することで、児童・運転者の交通安全意識の向上と事故防止を図る。

内容

①学校周辺の横断歩道に南区のキャラクターが入ったシートを路面に貼り付け
②車両の通行が多いスクールゾーンへの蛍光色のライン入れ

＜実績＞
①南区のキャラクターが入ったデザインをデータ作成。
①′　デザインしたデータでシートを作成し横断歩道に設置。
（1箇所設置済。R5年3月までにさらに数箇所設置予定。）
②グリーンラインを施工（計5箇所）。

①データ作成

①′　横断歩道に設置

②国道501号（並建）

②南区役所入口

8　終末期医療に関する啓発事業

目的

◆「在宅医療」の現状と「終末期医療」の課題や、メッセージノートの書き方などに関する啓発事業を行うことで、区民の地域包括ケアシステムに関する理解を深めることを目的とする。

内容

◆地域公民館やコミュニティセンター等において、地域住民を対象としたセミナーを開催

◆国が定めた人生会議の日（11/30）に合わせて、区民を対象としたイベント（講演等）を開催

＜実績＞

➢　「人生会議セミナー」　⇒ 10回　参加者合計 261名　（R5.1現在）
（4/8、5/20、6/14、7/15、8/9、8/16、9/9、10/14、10/21、11/2）

➢　「第2回南区人生会議の日」
⇒ 11/12（土）　参加者 223名

９　口腔ケアに関する啓発事業

目的

◆むし歯予防講話や口腔ケア体験会等を実施し、区民の口腔衛生に対する関心を高める。

内容

＜実績＞

- 歯科医師による歯科講話「健口で健康に」
- 歯科衛生士による歯周病リスクチェック、歯みがき指導等

日　時：令和４年８月３日（水）
対象者：JR九州熊本総合車両所の職員　６９名
場　所： JR九州熊本総合車両所会議室

歯周病リスクを自己チェックする職員

歯みがき指導を受ける職員

10　南区いきいきスポーツ大会

目的

◆区民一人ひとりの健康づくりと区民の一体感の醸成

内容

◆南区内における拠点的なスポーツ施設等を利用し、世代を問わず多くの南区民が参加しやすい競技によるスポーツ大会を開催
実施主体：南区親善スポーツ大会実行委員会

＜実績＞
■南区親善ミニバレー大会（R4.5月）
■南区親善グランドゴルフ大会（R4.12月）
⇒コロナ禍による感染予防のため中止

◆南区内に位置する加勢川河川敷にて南区の自然を体感するイベントとして、穴掘り大会を開催
実施主体：南区を自然でつなぐ実行委員会
（南区内各商工会青年部、川尻商店街連合会、南区役所等）
日時　　：令和5年2月11日（土）
場所　　：加勢川新町橋付近河川敷
参加者　：大人16チーム　　子ども10チーム

11　ICTでつながるまちづくり事業

目的

◆地域団体向けSNS講座等を開催することで、行政と地域団体、地域団体会員同士の情報伝達の効率化を図るとともに、住民参加型デジタルマップの作製など、デジタル社会に相応しいまちづくり活動に向けて地域住民のスキル向上を図る。

内容

◆地域団体等向けSNS講座

・やさしいスマホ講座（体験版/活用版）

公民館主催講座と連携し、スマホを持っていない方などの初心者向けに、大学生を交えたスマホ講座を開催。
スマホに実際に触れることで興味を持ち、アプリの利便性や活用方法を知ってもらうことができた。
また、地元の大学生が講師のサポートになることで地域の世代間交流につなげることができた。

＜実績＞

【富合】全4回の講座で22名参加
【天明】全4回の講座で22名参加
【城南】全3回の講座で23名参加
【飽田】全4回の講座で26名参加
【幸田】全3回の講座で20名参加
【南部】全4回の講座で25名参加

8～9月にかけて公設公民館6会場で開催し、延べ138名が参加

12　地域ブランド力向上推進事業（城南町地域）

目 的

- まちづくりを担う人材育成
- 官民協働のまちづくりの推進
- 地域特性を活かしたまちづくりの推進
- 持続的、自発的な地域活動の推進
- 地域情報の発信

令和4年度の取組み

1　火の君カフェ事業 【継続】

まちづくりの拠点となるプラットホームの構築事業。
毎月第３土曜日19：00～　城南まちづくりセンター会議室　参加者10名程度
※写真①

2　火の君商品開発塾事業 【拡充】

「食と農」をテーマにしたブランディングの取組み。熊本農業高等学校食品工業科食品クラブ、地元農家、民間事業者の協力により、現在町内５店舗が城南町産の蓮根を使用した惣菜パンをそれぞれ商品化し販売中。県内テレビ、全国テレビ番組で放送。　※写真②・③

3　婚活イベント事業 【拡充】

少子化対策、定住人口の誘引、地域活性化を目的とした婚活イベントを開催。
今年度は、城南町商工会青年部と富合町商工会青年部が連携。
２月５日（日）男生18名、女性14名の参加。カップル成立１１組。 ※写真④

4　nansama城南事業　【継続】

城南町の魅力を発信し交流人口の拡大を図るため、市民参加型の各種イベントを実施。今年度は４回のイベントを開催し、延べ５１名の参加。
また、SNS等の各種媒体を活用し城南町の魅力を広く発信。※写真⑤・⑥・⑦

5　火の君お助けマップ事業 【継続】

近年、城南町の人口、子育世代が増加。新たに城南町にお住いになる方々へ地域の魅力を発信するとともに、シビックプライドの醸成を図るため「火の君初心者マップ」を毎年更新。最新版は現在編集中。※写真⑧・⑨

6　区制10周年イベント（1/29）で発表 【新規】

まちづくりの活性化や地域文化振興の優良事例に選出され、南区代表として熊本市区制１０年記念イベントで取組事例の発表、展示ホールにて商品開発のPRを実施。
※写真⑩

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦
【アンケート参加者の声】
城南に初めて来ました、すごく楽しかった
普段できない体験に子どもは大興奮でした
城南の優しさに触れ、また来たいです
城南はこれからも発展すると思います
コロナに負けずに頑張って下さい

⑧

⑨

⑩

13　南区たからものマップ作成

目的

◆地域の“たからものマップ”　（歴史的・文化的資源、景観等）を地域住民と行政が一体となって作り上げることで、地域の一体感を醸成するとともに、これをイベント等で活用することで、地域資源の認知度やまちづくりへの関心を高める。

内容

①南区“たからもの”活用事業

南区の“たからもの”（歴史的・文化的資源、景観等）について、地域の方からの意見をもとに“たからもの”マップを作成する。（R5年3月完成予定）

②みんながつながる地域マップ作製

地域の方に自然景観、田園風景、まちの歴史など地域の魅力を浮き彫りにする写真を撮影してもらう。その写真を地図に落とし込み、地域マップの作製及び地域の魅力情報をSNSで発信する。

地域の魅力情報収集	随 時	地域住民からの写真募集
	8月～	高校生4名による写真部活動中
	1月～3月	写真講座開催
情報発信	随 時	Ｉｎｓｔａｇｒａｍへの写真投稿 （投稿数：44　フォロワー：116）
地域マップ作成	R5年3月完成予定	

14　QRコードを活用したクイズラリー

目的

◆コロナ禍で希薄となりつつある地域コミュニティの維持活性のため、世代間交流の機会創出や地域愛醸成を図る。

内容

◆「ナゾトキディスカバー in ひよし」の開催

＜実績＞

日時　：令和４年11月13日（日）午前9時（2時間程度）
場所　：日吉小学校を中心とする半径約400m内のエリア
参加者：43人（15組）
内容　：エリア内の10箇所のチェックポイントに設置されたニ次元コードをスマートフォンで読み取り、クイズに答えながらまち歩きをし、集めたキーワードによる最終問題に解答。最終問題の解答から優秀賞を選定。

参加賞：南区オリジナルグッズ、協力企業等からの提供品
優秀賞：地域団体等からの提供品（7組を選定）
参加者の感想：色々な人と触れ合いながら、町を見ながらゆっくり楽しめた。
普段歩かないところを散策し、新たな発見がたくさんあった。

15　おいしい南区魅力発信事業

目的

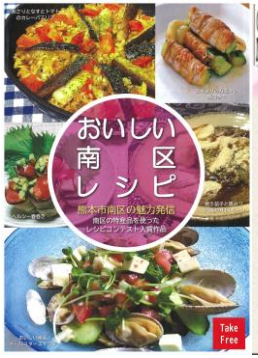
◆豊かな自然で育まれた農水産物の地域住民への魅力発信と、住民による新たなレシピ・商品の開発、それらの地産地消の拡大を図る。

内容

◆南区各まちづくりセンターが連携し、南区キャラクター（トマト、きゅうり、なす、はまぐり）をフラッグシップとして、おいしい特産品を南区の魅力として発信する。
◆令和３年度に実施した南区の特産品を使ったレシピコンテストの応募作品を活用したＰＲを行う。

【実績】
●地域担当職員がコンテスト入賞作品の料理動画5本を制作し、熊本市公式YouTubeに投稿。
再生回数：合計260回（R4.9月～R5.1月）

●入賞作品のレシピ本を3,000冊作成し、公民館、火の君マルシェ、スーパーなど13箇所に設置・配布した。
イオンタウン西熊本のマックスバリュでは、好評につき追加提供を求められた。



16　地域コミュニティづくり支援事業

目的

◆地域の課題解決や、地域コミュニティの活性化に取組む団体に対して、その費用の一部を助成することで、そうした活動の活性化と新たなまちづくり団体の育成を図る。

内容

◆従来の自治会、校区自治協議会等の団体のみならず、各種まちづくり団体を補助対象として拡充し、更なるまちづく活動の支援を図った。

＜実績＞
- 補助団体数：12団体
（自治会、自治協議会等：9団体、まちづくり団体：３団体）
- 補助金額：１，７０９，０００円
- 補助支援事業例

豊田校区自治協議会による認知症予防講座

城南町ふるさと祭り実行委員会による祭り

17　地域課題対応費

目的

◆突発的な地域課題に対して、迅速に対応することで、まちづくりの推進を図る。

内容

◆年度途中に発生した地域課題、地域ニーズに対して、講座、ワークショップ等を通じて課題解決を図る。

＜実績＞

◆第2回「南区人生会議」動画作成業務委託

終末期医療に伴う「人生会議」や「メッセージノート」等の啓発活動のため、R4.11月に開催した「第2回南区人生会議」の日のイベント（講演・寸劇等）の様子を動画作成し、本市ホームページ等に掲載するなど参加者以外にも周知を図った。

◆津波高潮警戒地域「地区防災計画」印刷経費

本年度に天明地区の各校区で作成した「地区防災計画」について、沿岸部の避難行動基準を地域住民に周知することを目的とし、印刷・全戸配布を行った。

18　南区まちづくり懇話会開催経費

目的

◆南区民、地域団体等との「協働」によるまちづくりの推進を図る。

内容

南区まちづくり懇話会委員17名（R3年度から継続）

＜実績＞

◆第1回懇話会（R4.5.23開催）
　R4年度南区まちづくり推進事業について

◆第2回懇話会（R4.8.24開催）
　「南区まちづくりビジョン」検証ワークショップ
　委員、元委員、大学生、関連部局職員　計46名

◆第3回懇話会（R4.12.21開催）
　「南区まちづくりビジョン」検証ワークショップ第2弾
　委員、元委員、大学生、関連部局職員　計37名

◆第4回懇話会（R5.2.17開催予定）

第1回

第2回

第3回